



International Exchange Bulletin

とちぎ国際交流

第 16 号

1991年(平成3年)11月号
編集発行
(財)栃木県国際交流協会
Tochigi International Association
〒320 宇都宮市昭和1-2-16
栃木県自治会館1階・3階
TEL (0286) 21-0777(代)
FAX (0286) 21-0951



野木町・ちょうちんもみ祭り(とちぎのまつり百選より) 提供:野木町役場

12月3日、午後4時頃から、3~4mの竹ざおに各地区名を書いた提灯を付けて、子供や氏子が野木神社の参道で掛け声をかけてもみあう「ちょうちんもみ祭り」。

鎌倉時代に、源頼朝から神田と神馬が献上されたとき、御出社・御帰社の祭りが始まり、各地区から提灯を持った裸の男たちがもみあったのが起こりといわれています。

Chochin Momi Matsuri

(Lantern Jostling Festival)

“Chochin Momi Matsuri” (Lantern Jostling Festival) will start around 4p.m. on December 3rd, 1991. Holding bamboo poles (3~4meters long) with lanterns on the top, children and parishioners shout and jostle at the approach to the Nogi Shrine.

In the Kamakura era Minamoto-no-Yoritomo, who was appointed shogun and founded the first military government in Kamakura in 1192, visited the Nogi Shrine to offer rice fields and horses. Men in the nude holding lanterns gathered from each area and jostled to celebrate his visitation. This is said to be the origin of the festival.

Place:Nogi Shrine

Transportation:10min. by car from JR Koga station (JR Utsunomiya Line)

今号の主な内容

- ★とちぎインターナショナルフェスティバル'91
- カメラ・ルポ……………P 2
- ★TIA設立3周年記念シンポジウムレポート…P 4
- ★高齢移住者母県招待者紹介……………P 5

今年もやっぱり

あつまれ 地球人!

TOCHIGI
とちぎ

10月6日(日)の「国際協力の日」に、宇都宮市あけぼの公園で、「とちぎ国際ナショナルフェスティバル'91」が、(財)栃木県国際交流協会と国際協力事業団の主催で開催されました。

会場を彩った青・赤・緑のテントでは、県内22の交流団体が各国料理試食、民芸品展示、活動報告パネル展他、様々な企画を出展し、またメインステージでは、英語指導助手&国際交流員によるダンスをはじめ、民族舞踊や音楽、さらに日本の武術や伝統音楽が披露され、観客を魅了しました。

いまにも泣き出しそうな天気でしたが、会場には外国人1,300人を含む4,000人が訪れ、「国際協力の日」の一日を緑の芝生の上で楽しみました。



▲英語指導助手 (AET) と国際交流員 (CIR) によるダンス発表

▶本場の味を求めて多勢集まった外国料理コーナー



◀「アシカのぬいぐるみ」は、子供たちに大人気



▲白鷗大学留学生、松宮マリア・エレナさんによるパラグアイのハープ演奏



▲子供から高齢者までにぎわった色鮮やかな会場

INTERNATIONAL FESTIVAL '91

カメラ・ルポ

インターナショナル フェスティバル'91



▲素敵な踊りを披露したタイの民族舞踊



◀会場のあちこちで交流の輪が広がる

シア館

▶数々の民芸品が展示されたインドネ



演奏 ▶築瀬小学校マーチングバンド



◀ミニステージでの音楽パフォーマンス



◀宮の原小学校マーチングバンド演奏



またまた来年も、「とちぎインターナショナルフェスティバル」でお会いしましょうネ!

後援 栃木県・栃木県教育委員会・栃木県市長会・栃木県町村会・宇都宮市
宇都宮市教育委員会・下野新聞社・栃木新聞社・栃木放送・NHK宇都宮放送局
協賛 財団法人あしぎん国際交流財団・㈱エーリスウエノ・栃木県牛乳普及協会
カルビス食品工業㈱

財栃木県国際交流協会 設立3周年記念シンポジウム レポート

当協会設立3周年を記念し、10月22日(火)、宇都宮市において、協会、外務省、国際協力事業団の主催でシンポジウムを開催いたしました。

このシンポジウムは、「交流から共存への道を考える」というテーマで、県内の国際交流活動の歩みを振り返り、これまでの限られた県民と在県外国人との“交流”を、本県の地域的特色を活かしながら、生活全般に係わる“共存”となるよう、その道程を参加者全体で考えていくことを趣旨としています。

吉村作治氏の楽しい講話

基調講演をしていただいた、早稲田大学人間科学部助教授・吉村作治氏は、エジプト研究の専門家で、著書、テレビ、ラジオにおいても活躍しています。吉村氏の長いエジプト滞在や外国旅行を通して得た国際感覚を、楽しい体験談等を交えながら話し、その中で、「共存」という考えは素晴らしいが、無防備に100%手を広げて外国人を受け



▲楽しい話で参加者を魅了した吉村作治氏の基調講演

入れてよいのだろうか」と疑問を促しながらも、これからの日本では、外国人とともに生活する状態となることが避けられない見通しであることを示唆してくれました。

盛り上がったパネルディスカッション

続いてのパネルディスカッションでは、コーディネーターの内田功氏（前外務省国内広報課企画官）の問題提起に、パネリストの河合正男氏（国際協力事業団企画部長）、石倉洋子氏（白鷗大学教授）、茂呂邦子氏（小山国際交流会会長）、板橋敏雄氏（栃木県経済同友会国際問題委員会委員長）、ジョゼ・ファロンバ氏（陶芸家）が、それぞれの分野での国際交流活動の体験等をもとに発言されました。

結論としては、“交流”から“共存”への移行の過程において必要なことは、在住外国人をお客さんとしてではなく、個人の意識改革により“内なる共存”者として認識すること、地球の問題にどのように係わるかという国際協力の点も深く考える必要性などが述べられました。

このシンポジウムを通じて、会場を訪れた約150名の参加者の胸の中に、新しい意識が芽生えることを期待しております。



▲パネルディスカッションでは、各パネリストが活発に討論
(左から内田、河合、石倉、茂品、板橋、ファロンバの各氏)

ようこそとちぎへ～高齢移住者 数十年ぶりの帰国



▲県内視察見学（日光）でのワン・ショット
右から大橋さん、鈴木さん、福田さん、中内さん

平成3年度高齢移住者母県招待事業が、9月27日～10月25日の日程で行われました。昭和53年度に開始され、今年度で最後となるこの事業は、渡航以来これまで帰国の機会に恵まれなかった本県出身の高齢移住者を招待するものです。

今回はブラジルから4名の高齢移住者が数十年ぶりに帰国し、知事への表敬訪問を始め、東京・県内視察見学等を行い、約1か月間を栃木県で過ごされました。

プロフィール ①性別 ②年齢 ③現住所 ④渡航年 ⑤出身地

▶大橋 博 ①男 ②76歳 ③サンパウロ市 ④1928年 ⑤下都賀郡国府村（現栃木市）

▶鈴木 緑 ①男 ②69歳 ③サンパウロ市 ④1937年 ⑤馬頭町

▶福田菊枝 ①女 ②68歳 ③サンパウロ市 ④1924年 ⑤大田原市

▶中内繁子 ①女 ②65歳 ③サンパウロ市 ④1928年 ⑤大田原市

移住苦労話

火事ですべてを失ったこともありました。大橋 博さん

1928年、15歳のときにお兄さん夫婦と一緒にブラジルへ渡った大橋さん（右写真）に、移住後の苦労話等についてお聞きしました。

「農民でなかった私たちが、ブラジルに渡って初めて農業をしたのですから、苦労は多かったです。当時は政府からの請け負いで、一か月の仕事（コーヒー栽培のための草刈り）の量が決まっていたのですが、



兄が毒ヘビにかまれ寝こんだときなど、私と兄嫁の2人では到底規定量に及ばず、生活は苦しいものでした…」

「せっかく収穫したコーヒーも、値段が暴落してしまったり、また最も悲惨だったのは、ちょっとした火が原因で、かやぶきの家全体が燃えてしまい、日本から持ってきた物を含むすべてが灰となってしまったことです…」

「1972年に、40年間の農業生活に終止符を打ち、サンパウロ市に移り住んだことが子供たちにとっては良かった」と最後に話してくれました。



宇都宮市鶴田町1545-1
（平成鹿沼インター通り）

セレモニーホール

センチュリー

へいあん

TEL.0286-48-1122 0120-481165

こちら国際交流最前線

アジアの問題を考える会

当会は、昭和59年10月、「真の国際交流とは何か」を身近なテーマを通して、学習しながら援助活動することを目的に、設立しました。

現在会員は13名で、協力者も多数おります。これまでの主な活動を次に紹介します。

- ①タイへの研修旅行（スラム見学、子どもの村学園訪問など）
- ②子どもの村学園への教育基金贈呈（同学園の子供の詩画集を出版した収益金）
- ③「タイを往く展」を宇都宮市内のデパートで開催（東北タイのブルノイ村で、手織物などを収集、デパートで販売した収益金を同村の養魚池用地、貯水タンクの購入、集会所の建築資金として贈呈）
- ④アジアフォーラム「内なる国際化」を開催
- ⑤マレーシアからのアジア学院研修生に対する活動資金の援助
- ⑥タイ語、日本語の会話テープの作

製 ⑦月2回、ミーティングを開催し、タイ語の会話を学習 ⑧入院しているタイ女性の介護、会員が交替で担当 ⑨TILL（栃木インターナショナル・ライフライン）の設立に際しては、発起人として会員2名が参加 ⑩その他、バザー、各種イベントに参加…など幅広く活動を展開しています。

今後も会員各自が、主体性をもって、役立つ活動に積極的に取り組んでいきたいと考えています。



◀毎年、教育基金を贈っている「子どもの村学園」の授業風景

読者の広場

◆国際交流に寄せて

いま、経済大国日本の国際社会への貢献のあり方が、いろいろな形で論議されてます。私の仕事の旅行という業界からみても、その役割りの重要性を認識せざるを得ません。それには、相手をよく知ることが大切になってきますから、国際交流の場や機会を多くもつということが必要不可欠になると思います。

旅行、とくに海外旅行は、そういった意味あいも含めていろいろな国々の歴史、風土、習慣の違いを理解し、様々な人々を知る絶好の機会です。

海外旅行に行かれる方が年々増加していますので、私達は、お客様のニーズの多様化にともない、単

なる観光でなく、旅行目的に合わせ、お客様自身が満足いく旅づくりの手伝いができるように心がけています。

お客様には、自動的に国際交流ができる場が与えられる海外旅行で、積極的に海外の方々と交流を深めてほしいです。言葉の違いなんて関係ないと思います。要はお互いの気持をどう理解し合っていくかです。言葉が話せなくても気にしないことです。

私達としては、そのお手伝いが少しでもできるような、お客様が満足いく、その一つ上をいく旅ができる様に仕事をしたいと思っています。

（宇都宮市、黒崎佳久）



宇都宮 ↔ 成田空港

直通高速バス マロニエ号

空港ターミナル4F出発ロビーに直行！

毎日4往復・4000円

- ▶ JR宇都宮駅西口関東チサンホテル前 16番のりば発 ▶ 5:20 8:30 12:00 14:00
 ▶ 成田空港1F到着ロビー京成カウンター前6番のりば発 ▶ 8:05 15:30 17:00 19:40

ご予約・お問合せ ☎0286-38-1730 または関東バス各営業所へ

関東バス

国際交流Q & A

〈運転免許証の切り替えについて〉

Q. 外国で取得した運転免許証を日本の免許証に切り替えられますか？

A. 外国行政庁交付の有効な運転免許証を持ち、その免許取得後、当該国において3カ月以上の滞在があれば、適正試験だけで、外国で受けている免許種別に相当する第一種免許を取得できます。手続きに必要な書類は①当該外国行政庁交付の運転免許証 ②パスポート ③住民票の写し(本籍の記載のあるもの) ④写真(3cm×2.5cm)1枚 ⑤手数料(普通免許であれば3,200円)で、申請先は所在地を管轄する公安委員会です。栃木県なら運転免許センター(鹿沼市下石川682 ☎0289-76-1551)になります。

※受付は月～金曜の午前8:30～9:00まで。簡単な実地試験も含み、手続きがすべて完了するのは午後4時頃です。

協会日誌 (1991.10.1～1991.11.30)

- 10/1 高齢移住者母県招待者知事等表敬
- 10/6 とちぎインターナショナルフェスティバル'91 (宇都宮市あけぼの公園)
- 10/8～9 高齢移住者母県招待者東京視察研修
- 10/9 第Ⅲ期日本語講座開講式 (協会研修室)
- 10/16 国際理解・国際協力のための高校生主張コンクール (自治会館)
- 10/22 協会設立3周年記念シンポジウム (プラザインくろかみ)
- 10/25～27 タンザニア料理教室 (南那須町・壬生町・鹿沼市)
- 10/25 高齢移住者母県招待者帰国
- 10/30 英会話講座閉講式 (田沼町役場)
- 11/6 研修機関実務担当者合同打合せ会 (自治会館)
- 11/14 フランス語講座閉講式 (馬頭町山村開発センター)
- 11/19 中国語講座閉講式 (鹿沼市中央公民館)

素顔の地球探険隊！～青年海外協力隊平成3年度秋募集

自分の持っている技術や経験を生かし、開発途上国の人々の新しい国づくりに協力する“青年海外協力隊”を下記のとおり募集します。

▶**応募資格**＝20歳以上39歳まで(平成3年11月30日現在)の日本国籍をもつ青年男女

▶**応募方法**＝青年海外協力隊所定の願書(T I Aにもあります)を協力隊事務局に提出

▶**募集期間**＝平成3年11月30日(土)まで(締切日消印有効)

▶**募集規模**＝約150職種、約1,000名

▶**選考試験**＝第1次選考…筆記試験(技術、英

語、協力隊員適性テスト)平成4年1月12日(日)、各都道府県で実施／第2次選考…面接試験(個人面接、技術面接)及び健康診断 平成4年2月18日(火)～25日(火)のうちの1日、東京で実施

▶**派遣期間**＝原則として2年間

〔募集説明会のお知らせ〕

- ・11月19日(火)…大田原市総合文化会館 18:30～
 - ・11月20日(水)…思水荘(小山市) 18:30～
 - ・11月21日(木)…足利市民プラザ 18:30～
 - ・11月22日(金)…コンセーレ(宇都宮市) 18:30～
- ※お問い合わせはT I A (☎0286-21-0777)まで

本格中国料理

雅秀殿が追い求める食に終わりはありません。



(和室13部屋 洋室個室17部屋 席数380席)駐車総数80台

忘年会・新年会
ご予約受付中



◆年中無休
●営業時間
A M11:00～P M10:00

20名様以上マイクロバス無料送迎致します。

お料理は一人様4,000円より
ご予算に合わせてご用意させていただきます。

中国料理 雅秀殿

総本店 ☎0286(32)7722
宇都宮市東區郷6-4-1
栃木 ☎0282(24)8734
本店 栃木市城内町2-24-43

本年度最後の日本語講座案内

TIAでは、県内在住外国人の方への日本語学習の機会、そして外国人どうしの交流の場を提供するため、本年度最後の日本語講座を下記のとおり開催します。

▶日時=1992年1月7日～3月31日(毎週火曜日、ただし2月11日は休講) 10:00～12:00

▶場所=TIA3階研修室

▶募集人員=20名程度(先着順)

▶受講料=無料、ただしテキスト代は各自負担(2,000円程度)

※詳しくは、TIA日本語講座係へご連絡下さい。

JAPANESE LANGUAGE LESSONS

The Tochigi International Association has been offering free Japanese classes for foreign residents in Tochigi prefecture. The schedule for the forth term is as follows;

Date: Every Tuesday from January 7, 1992 to March 31, 1992 (No class on February 11)

Time: from 10:00 am. to noon

Place: Tochigi International Association (3fl.)

We accept up to 20 students. Tuition fee is free, however, the students have to buy a textbook (A textbook costs about 2,000yen).

*For more information, call TIA'S NIHONGO KOZA GAKARI at 0286-21-0777.

英語版情報誌「THE TOHOKUSEN」

在県外国人と県民のスタッフが協力して編集している「THE TOHOKUSEN (ザ・東北線)」は、市内各種イベント情報、エッセイ・コラム等がすべて英語で書かれてあります。

発行は月一回で、一部100円。TIA窓口でも販売しています。

※内容・投稿等についての詳しいお問い合わせは、アリソン・ボールさん(☎34-8581)までどうぞ。

Do you know "THE TOHOKUSEN"?

"THE TOHOKUSEN" is a monthly magazine all written in English. This magazine carries essays, events and entertainment guide, columns, etc.

You can get a copy at TIA (100yen a copy). For the details and to contribute articles, please call Ms. Allison Ball at 0286-34-8581.



編集後記

今年の9～10月は週末台風が多くて、日曜日は情けない空模様ばかり。10月6日(日)の「とちぎインターナショナルフェスティバル」も、降水確率50%のつれない天気予報。でもTIAはあえてこの予報に挑戦しました。

結果は? 厚い雲に覆われ、今にも泣き出しそうな天気でしたがなんとかセーフ(と言っても、フェスティバル終了1時間くらい前から雨が降り始めてしまいましたが...)。会場には約四千人が集まり、にぎわいました。

雨が降らないよう祈ってくださったみなさま、どうもありがとうございました。

また来年もお楽しみに!

●ご案内図



※財団法人栃木県国際交流協会では、各企業・団体からのご出捐をお願いしております。当協会の事業にご賛同下さるみなさまのお力添えをよろしくお願い申し上げます。